

# 映像制作のブックリスト

※資料は貸出中の場合があります

## 初心者のための映像制作セミナー

『映像の原則ービギナーからプロまでのコンテ主義ー改訂版』 富野由悠季著  
キネマ旬報社 2011年9月（キネマ旬報ムック）

監督・富野由悠季による、映像の基本から映像の原則まで。「感性だけで映像作品は撮れない」など基礎知識から心構えなどを解説した映像演出技術書。

『マスターショット vol 2 (ダイアログ編)』 クリストファー・ケンワーシー著  
吉田俊太郎訳 フィルムアート社 2011年12月刊

人物の対話のシーンの撮り方、その構図やカメラワークの技法が100通り収録されています。実際の映画のシーンと、CGで分かりやすく再構成された画像も掲載されており、分かりやすく解説されています。このシリーズは2015年6月現在Vol.3まで出版されています。

『世界名作映画絵コンテ図鑑』 フィオヌラ・ハリガン著 富永晶子訳 スペースシャワーネットワーク 2014年6月刊

1939年から2014年までに公開された映画42作品のストーリーボードの一部を大公開。作品ごとに絵コンテの書き方がまったく違い、絵コンテだけで映画の雰囲気伝わってきます。絵コンテの作り方や構図の参考になるだけでなく、普段なかなか見る機会のない絵コンテの魅力も楽しめる1冊です。

『マイ・ファースト・ムービーー私はデビュー作をこうして撮った』 スティーヴン・ローウェンスタイン編 宮本高晴訳 フィルムアート社 2002年4月刊

コーエン兄弟、ケン・ローチら16人の映画監督が、初めて映画を撮った時のことを語ったインタビュー集。今でこそ有名な彼らが、初めは別の仕事をしながら映画を作ったこと、苦労して予算を集めたこと、評価が芳しくなかったことなど、意外な事実も伺い知ることができます。彼らの映画制作に対する思いを体現した名言も必見です。

その他にも図書館にはたくさんの資料があります。

他館の資料や貸出中の資料は予約をすることができます。

どうぞご利用ください！

